

令和 6 年度の屋久島西部地域における計画捕獲実施状況（速報値）

環境省屋久島自然保護官事務所

（１）目的

- ・西部地域瀬切地区の植生回復を目的に、囲い罠による計画捕獲を実施。
- ・5頭/km以下を目安に、多頭捕獲を目指す。
- ・西部地域のヤクシカは落ち葉も餌としており、年中餌が供給され季節による誘引効果に差がないと考えられるため、本年度は9月から捕獲を実験的に実施した。

（２）誘引捕獲期間

令和 6 年 9 月	給餌・捕獲実施：9/9～9/26
令和 6 年 11 月	給餌・捕獲実施：11/9～11/22
令和 7 年 1 月	給餌・捕獲実施：1/5～1/19
2 月	給餌・捕獲実施：2 週間（予定）

（３）実施場所

西部地域瀬切地区の瀬切大橋西側の道下及び道上で実施。

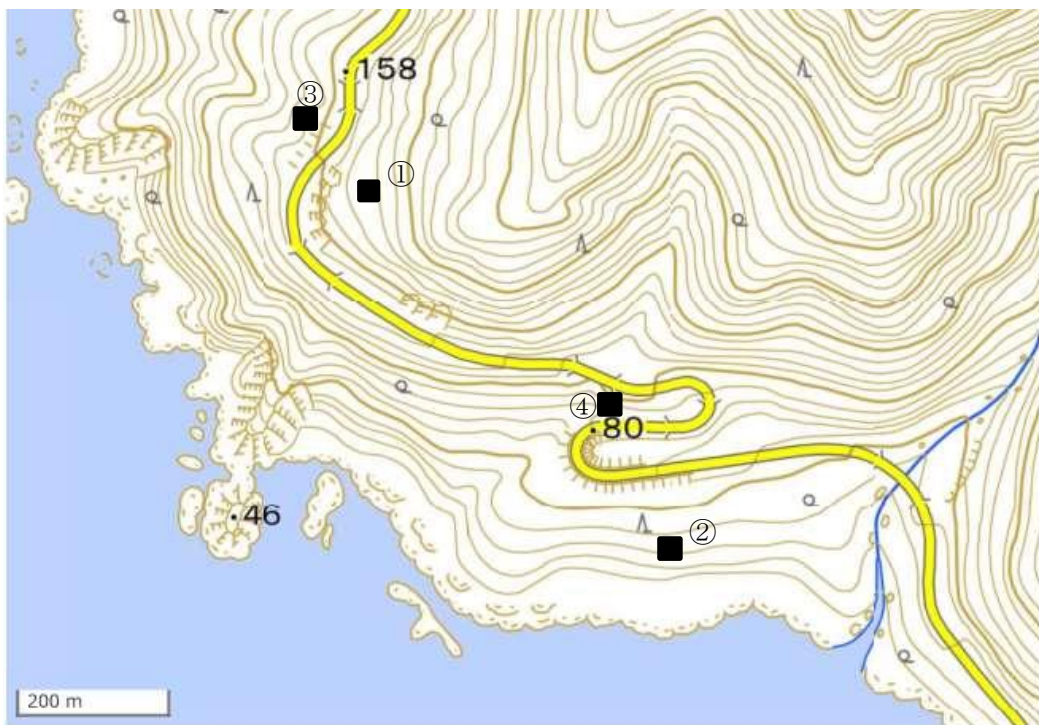


図 1 瀬切地区の囲い罠設置位置（■は囲い罠設置位置）

図中①、②の囲い罠は既設の囲い罠で、過年度より継続して捕獲を行っている。令和 6 年度は③、④において新たに囲い罠を新設し、合計 4 基の囲い罠による捕獲を実施した。

(4) 捕獲方法

●既存の囲い罠（囲い罠①、②）

過年度より、和歌山県果樹試験場で開発された「潜り込み式獣類捕獲用ゲート」（特許第7019133号）を開発者の承諾の下、試験的に導入し捕獲を実施した。誘引には毎日粉状ヘイキューブをゲートの外と内に合計 2.5 kg程度使用して誘引を行った。ゲートの外に置いた餌が完食された場合はゲートの外への設置はとりやめ、ゲートの内側に全量 2.5 kgの誘引餌を設置した。誘引が不十分と思われる場合は米ぬか 500 g 程度を状況に合わせて追加した。ヤクシカがゲートを出入りするようになり、捕獲が可能な場合は都度捕獲を行った。

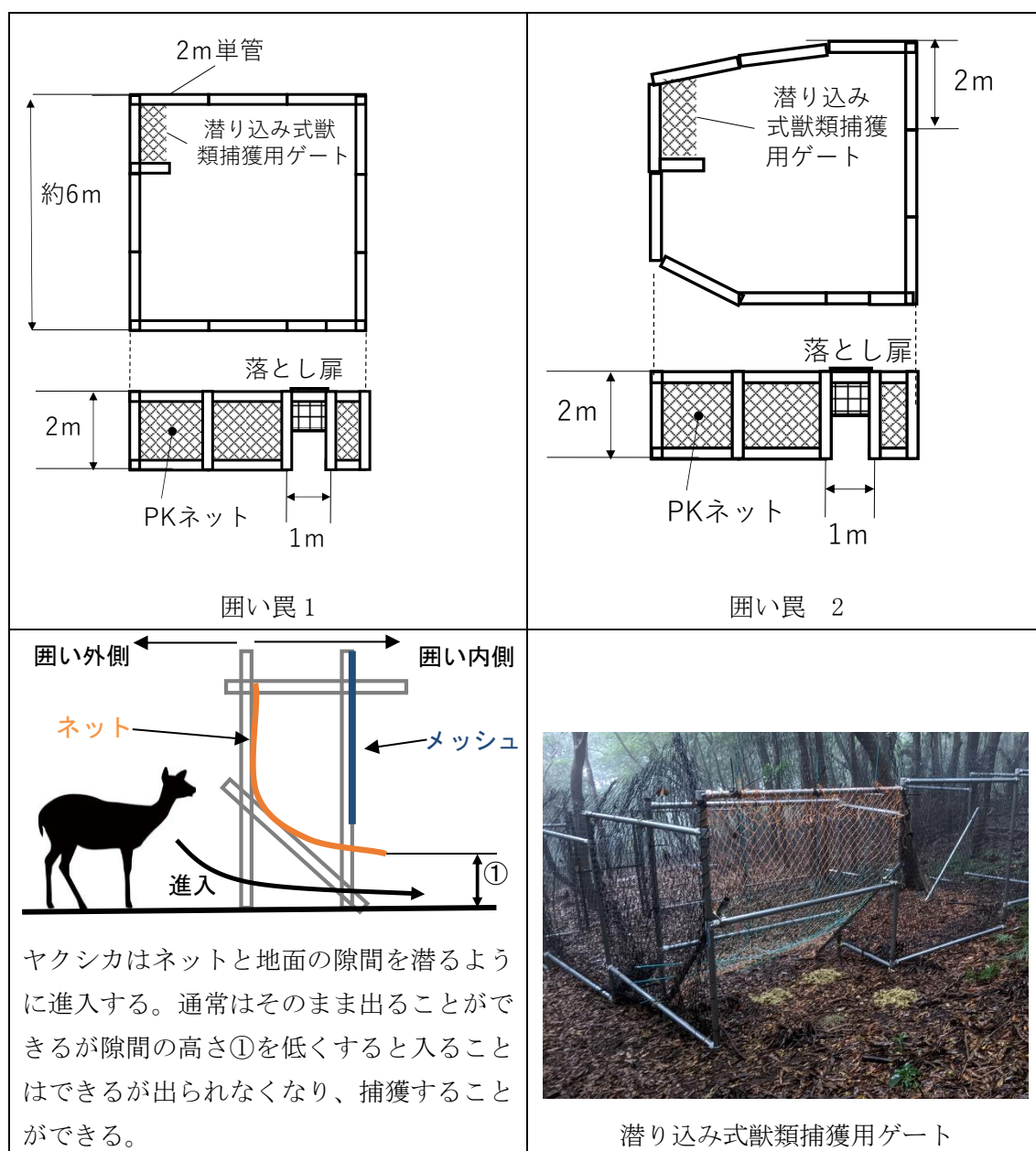


図2 囲い罠の形状

●新規囲い罠（囲い罠③、④）

瀬切地区の捕獲による捕獲圧を高めるため新たに 2 基囲い罠を設置した。設置した囲い罠には、潜り込み式獣類捕獲用ゲートの開発者が新たに開発した「立木（りゅうぼく）ネット囲い罠（愛知県農業総合試験場 西村研究員が開発）」を採用した。

「立木ネット囲い罠」は立木を利用して、軽量のネットをゴムバンドなどで固定して形成するため、斜面と立木が多い屋久島の低標高地域において活用しやすい囲い罠として期待できる。この囲い罠はシカが出入りするゲートを 1 カ所有し、ゲートが静かに下がることでシカを捕獲する。

設置には開発者から提供された、資料や愛知県内に設置された立木ネット囲い罠を参考に設置した。



囲い罠③



囲い罠④

- ・骨組み部分：立木を利用して、ゴムバンドなどでネットを固定する
- ・網部分：イザナス入りネット
- ・ネットはペグで地面に固定する。囲い罠④は地面が固くペグが打ち込めないので地面にマス状に組んだ単管へネットを固定した。

図 3 設置状況

(5) 捕獲状況

1 月までの捕獲状況では合計 21 頭捕獲した。捕獲した翌日も連続して捕獲できており、捕獲時に周囲のシカへ警戒心を与えていないと考えられる。また 9 月に 9 頭捕獲できており、冬以外でも十分誘引効果があると考えられる。

表 1 令和 5 年度捕獲状況

日付	囲い 1		囲い 2		囲い 3 (新規)		囲い 4 (新規)	
	オス	メス	オス	メス	オス	メス	オス	メス
9/24	1	1	2	2	-	-	-	-
9/25	0	3	0	0	-	-	-	-
11/15	1	0	0	0	1	1	0	0
11/20	0	1	0	0	1	0	0	0
11/21	0	0	0	0	1	0	1	0
1/14	0	1	0	0	2	1	0	0
1/17	0	0	0	0	0	0	1	0
合計	2	6	2	2	5	2	2	0

表 2 参考：過年度捕獲状況

年度	オス	メス	合計	合計誘引期間
令和 2 年	18	6	24	9 週間
令和 3 年	10	3	13	9 週間
令和 4 年	8	14	22	6 週間
令和 5 年	6	4	10	6 週間
令和 6 年	11	10	21	7 週間
合計	53	37	90	